



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月12日

上場会社名 大日本塗料株式会社
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦

TEL 06-6266-3102

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	72,709	1.4	5,547	8.1	5,786	6.8	3,662	1.6
2019年3月期	73,743	0.5	6,039	8.3	6,210	2.9	3,604	21.2

(注) 包括利益 2020年3月期 952百万円 (68.5%) 2019年3月期 3,020百万円 (62.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	128.96	128.07	8.7	7.4	7.6
2019年3月期	125.61	124.87	8.7	8.0	8.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 0百万円 2019年3月期 2百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	76,817	44,679	54.4	1,475.59
2019年3月期	78,880	45,083	53.6	1,478.43

(参考) 自己資本 2020年3月期 41,762百万円 2019年3月期 42,275百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,434	4,424	742	5,064
2019年3月期	4,358	2,470	351	5,704

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		25.00	25.00	714	19.9	1.7
2020年3月期		0.00		25.00	25.00	707	19.4	1.7
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)通期									

次期(2021年3月期)については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を注視しており、現段階では合理的な算出ができない状況のため未定といたします。今後、予想が可能となった時点において、速やかに業績見通しを開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	29,710,678 株	2019年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,408,275 株	2019年3月期	1,115,906 株
期中平均株式数	2020年3月期	28,398,283 株	2019年3月期	28,699,936 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	41,339	2.6	1,388	17.0	3,225	0.9	2,441	27.0
2019年3月期	42,459	2.4	1,671	25.8	3,255	12.1	3,346	2.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	85.98	85.39
2019年3月期	116.61	115.93

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	60,436	29,751	48.9	1,043.69
2019年3月期	60,161	28,993	47.9	1,007.75

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,538百万円 2019年3月期 28,816百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20
6. その他	22
役員の異動	22

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、輸出を中心に弱さが長期化しております。加えて、通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の先行き、金融資本市場の変動等のほか、新型コロナウイルス感染症が国内及び世界経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があり、先行きの不透明感は一段と強まっております。

当社グループの経営成績については、売上高は国内塗料事業及び海外塗料事業において前期を下回り、727億9百万円（前連結会計年度比 1.4%減）、利益面では、照明機器事業で大きく収益性が改善したものの、国内塗料事業及び海外塗料事業において需要が低調に推移し、営業利益は55億4千7百万円（同 4億9千1百万円減）、経常利益は57億8千6百万円（同 4億2千3百万円減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は前期に計上した本社移転に伴う減損損失の剥落により、36億6千2百万円（同 5千7百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

【国内塗料事業】

構造物分野では、市況が堅調に推移し、売上は前期を上回りました。建材分野では、新設住宅着工戸数減少の影響を受け、売上は前期を下回りました。利益面では、原材料価格は下落に転じているものの、一部の高付加価値品における顧客の減産に伴う販売の減少及び本社移転に伴う費用の発生により前期を下回りました。

この結果、売上高は518億6千1百万円（前連結会計年度比 2.1%減）、営業利益は24億6千4百万円（同 4億6千9百万円減）となりました。

【海外塗料事業】

東南アジア市場では、主要顧客の減産等により自動車部品分野の需要が減少し、売上、利益ともに前期を下回りました。中国市場では、各種の工業分野における需要が減少し、売上、利益ともに前期を下回りました。北中米市場では、自動車部品分野の売上は前期並みとなりましたが、高付加価値品の販売が減少し、利益は前期を下回りました。

この結果、売上高は72億9千万円（前連結会計年度比 9.6%減）、営業利益は8億4千3百万円（同 3億4千7百万円減）となりました。

【照明機器事業】

業務用LED照明分野では、宿泊施設や商業施設向けの間接照明需要が好調に推移し、売上は前期を上回りました。利益面では、売上の増加に加えて生産効率向上への取組みが奏功し、前期を上回りました。

この結果、売上高は101億3千5百万円（前連結会計年度比 8.1%増）、営業利益は16億3千9百万円（同 4億円増）となりました。

【蛍光色材事業】

顔料分野では、国内市場において高付加価値品の販売が堅調に推移し、売上は前期を上回りました。利益面では、原材料価格の高騰に対し、販売価格の適正化が伸展したことで、前期を上回りました。

この結果、売上高は13億3千7百万円（前連結会計年度比 3.8%増）、営業利益は1億1千6百万円（同 4千1百万円増）となりました。

【その他事業】

売上高は20億8千4百万円（前連結会計年度比 2.1%増）、営業利益は2億1千7百万円（同 9千7百万円減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、768億1千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億6千2百万円の減少となりました。流動資産は、333億1千7百万円で前連結会計年度末と比較して20億7千万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の減少5億5千3百万円、受取手形及び売掛金の減少12億1千4百万円、その他の減少2億4千4百万円が主因であります。固定資産は、434億9千9百万円で前連結会計年度末と比較して8百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加29億9千1百万円、無形固定資産の減少2億7千1百万円、投資その他の資産の減少27億1千1百万円が主因であります。

負債は、321億3千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億5千8百万円の減少となりました。流動負債は、239億3千4百万円で前連結会計年度末と比較して37億5千6百万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少25億5千万円、短期借入金の減少14億7千6百万円、未払法人税等の増加2億3千万円が主因であります。固定負債は、82億3百万円で前連結会計年度末と比較して20億9千7百万円の増加となりましたが、これは

長期借入金の増加24億円、繰延税金負債の減少7億4千2百万円、リース債務の増加3億2千3百万円が主因であります。

純資産は、446億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億3百万円の減少となりましたが、これは利益剰余金の増加29億3千4百万円、自己株式の増加2億9千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少7億8千2百万円、退職給付に係る調整累計額の減少24億1百万円が主因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より6億4千万円減少し、50億6千4百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により得られた資金は、44億3千4百万円（前連結会計年度は43億5千8百万円の収入）となりました。これは税金等調整前当期純利益、売上債権の減少による収入と、仕入債務の減少、退職給付に係る資産の増加、法人税等の支払等の支出を主因とするものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により使用した資金は、44億2千4百万円（前連結会計年度は24億7千万円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出を主因とするものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により使用した資金は、7億4千2百万円（前連結会計年度は3億5千1百万円の支出）となりました。これは長期借入金による収入と、短期借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出、リース債務の支払等の支出を主因とするものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が継続すると見込まれており、感染拡大による国内及び世界経済の下振れリスクや金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況のもと、当社グループでは重防食分野をはじめとした当社の強みを発揮できる市場において、製品・サービスの付加価値を訴求し既存市場のシェア拡大と新市場の開拓に努めてまいります。同時に、社会構造の変化にいち早く対応し、新たな付加価値を創出するための研究開発体制を強化してまいります。2020年4月には抗菌・抗ウイルス性塗料を新たに発売しており、今後も社会のニーズに対応した技術や製品の開発と市場への訴求に注力し、将来にわたる業績の安定化と高収益化に継続して取り組む所存です。このほか、先行きが不透明な状況のなか、原価の低減及び販売管理費の抑制などのコスト削減に注力することで、利益の確保に努めます。

今後の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期やそれに伴う経済への影響が不透明な中で、国内塗料事業においては、政府から発令されている緊急事態宣言の影響で、建設工事の遅延や中断、工業用顧客の生産調整等が生じることにより、塗料需要の落ち込みが予想されます。海外塗料事業においても、各国政府が発令しているロックダウンや行動規制により、総じて生産活動が低下しております。また、照明機器事業においては、店舗営業の自粛や観光業の停滞等により商業施設での設備投資が抑えられ、今後の需要の落ち込みが予想されます。

以上の点から、2021年3月期の連結業績予想及び配当につきましては、当社及び当社グループへ与える業績影響を現段階では合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する配当額の決定を、経営上の重要課題の一つと位置づけており、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。

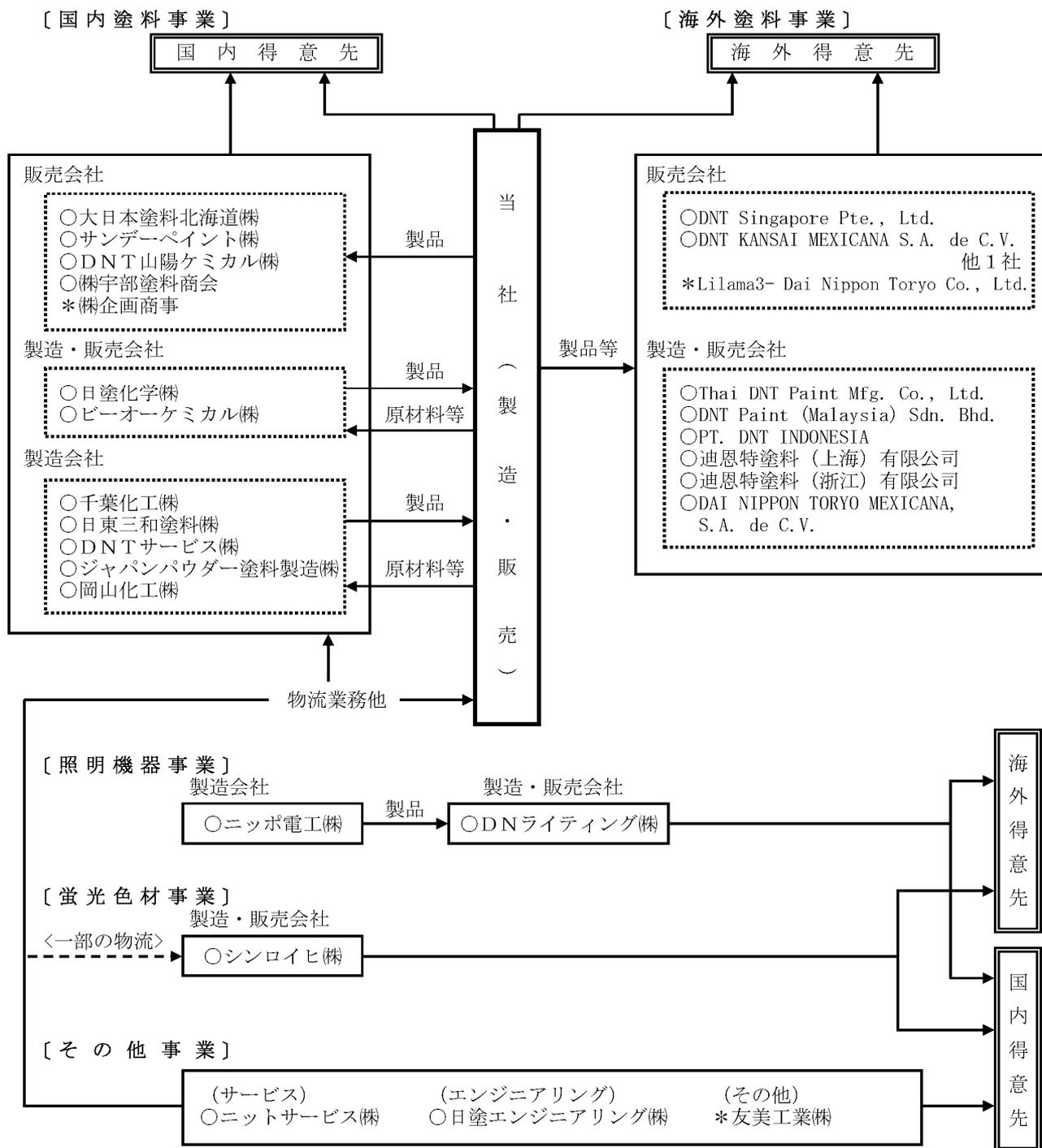
なお、当期末の配当金につきましては、2019年5月10日付の適時開示においてお知らせいたしましたとおり、1株あたり25円を予定させていただきます。

また、次期連結会計年度につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 企業集団の状況

事業の系統図は次のとおりであります。



(注) 1. ○印は、連結子会社です。
 2. *印は、持分法適用関連会社です。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来の I F R S 適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその他適用時期について検討をする方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,871	5,317
受取手形及び売掛金	18,387	17,172
商品及び製品	5,623	5,671
仕掛品	784	755
原材料及び貯蔵品	3,107	3,012
その他	1,665	1,421
貸倒引当金	△50	△33
流動資産合計	35,388	33,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,051	19,509
減価償却累計額	△13,843	△13,660
建物及び構築物（純額）	5,208	5,848
機械装置及び運搬具	21,869	22,642
減価償却累計額	△18,441	△19,036
機械装置及び運搬具（純額）	3,428	3,606
土地	11,768	11,805
リース資産	1,123	1,338
減価償却累計額	△591	△700
リース資産（純額）	531	637
建設仮勘定	378	1,987
その他	5,664	6,402
減価償却累計額	△4,533	△4,850
その他（純額）	1,130	1,552
有形固定資産合計	22,446	25,437
無形固定資産		
リース資産	159	184
その他	654	357
無形固定資産合計	813	542
投資その他の資産		
投資有価証券	6,652	5,575
繰延税金資産	1,989	1,982
退職給付に係る資産	11,044	9,425
その他	611	604
貸倒引当金	△67	△67
投資その他の資産合計	20,231	17,520
固定資産合計	43,491	43,499
資産合計	78,880	76,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,042	15,492
短期借入金	3,237	1,760
リース債務	207	270
未払法人税等	431	661
役員賞与引当金	61	73
製品補償引当金	348	334
その他	5,362	5,341
流動負債合計	27,691	23,934
固定負債		
長期借入金	—	2,400
リース債務	554	877
繰延税金負債	3,256	2,514
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	841	896
環境対策引当金	96	96
その他	53	114
固定負債合計	6,105	8,203
負債合計	33,796	32,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,452	2,440
利益剰余金	23,906	26,841
自己株式	△1,317	△1,617
株主資本合計	33,868	36,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,400	1,617
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△212	△164
退職給付に係る調整累計額	4,336	1,935
その他の包括利益累計額合計	8,407	5,271
新株予約権	176	212
非支配株主持分	2,631	2,704
純資産合計	45,083	44,679
負債純資産合計	78,880	76,817

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	73,743	72,709
売上原価	51,909	50,909
売上総利益	21,833	21,800
販売費及び一般管理費	15,794	16,252
営業利益	6,039	5,547
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	209	204
物品売却益	76	64
保険戻戻金	61	36
その他	156	181
営業外収益合計	526	517
営業外費用		
支払利息	52	51
売上割引	44	43
売上債権売却損	47	37
支払補償費	23	65
製品補償引当金繰入額	97	2
その他	90	78
営業外費用合計	355	278
経常利益	6,210	5,786
特別利益		
固定資産売却益	3	4
投資有価証券売却益	6	159
負ののれん発生益	—	26
特別利益合計	10	191
特別損失		
固定資産処分損	89	99
減損損失	362	1
事業構造改善費用	123	152
その他	15	20
特別損失合計	591	274
税金等調整前当期純利益	5,629	5,703
法人税、住民税及び事業税	1,046	1,044
法人税等調整額	573	673
法人税等合計	1,620	1,718
当期純利益	4,009	3,984
非支配株主に帰属する当期純利益	404	322
親会社株主に帰属する当期純利益	3,604	3,662

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,009	3,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	△782
為替換算調整勘定	△193	152
退職給付に係る調整額	△848	△2,401
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△988	△3,032
包括利益	3,020	952
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,649	526
非支配株主に係る包括利益	371	425

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,827	2,452	21,025	△919	31,385
当期変動額					
剰余金の配当			△722		△722
親会社株主に帰属する当期純利益			3,604		3,604
自己株式の取得				△403	△403
自己株式処分差損の振替		1	△1		—
新株予約権の行使		△1		4	3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,881	△398	2,482
当期末残高	8,827	2,452	23,906	△1,317	33,868

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,346	1,882	△51	5,185	9,362	138	2,462	43,349
当期変動額								
剰余金の配当								△722
親会社株主に帰属する当期純利益								3,604
自己株式の取得								△403
自己株式処分差損の振替								—
新株予約権の行使						△3		0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	54		△160	△848	△955	41	168	△744
当期変動額合計	54	—	△160	△848	△955	38	168	1,734
当期末残高	2,400	1,882	△212	4,336	8,407	176	2,631	45,083

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,827	2,452	23,906	△1,317	33,868
会計方針の変更による累積的影響額			△10		△10
会計方針の変更を反映した当期首残高	8,827	2,452	23,896	△1,317	33,857
当期変動額					
剰余金の配当			△714		△714
親会社株主に帰属する当期純利益			3,662		3,662
自己株式の取得				△308	△308
自己株式処分差損の振替		2	△2		-
新株予約権の行使		△2		9	6
連結子会社株式の取得による持分の増減		△11			△11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△11	2,944	△299	2,633
当期末残高	8,827	2,440	26,841	△1,617	36,491

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,400	1,882	△212	4,336	8,407	176	2,631	45,083
会計方針の変更による累積的影響額								△10
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,400	1,882	△212	4,336	8,407	176	2,631	45,073
当期変動額								
剰余金の配当								△714
親会社株主に帰属する当期純利益								3,662
自己株式の取得								△308
自己株式処分差損の振替								-
新株予約権の行使						△6		0
連結子会社株式の取得による持分の増減								△11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△782		48	△2,401	△3,135	42	72	△3,020
当期変動額合計	△782	-	48	△2,401	△3,135	35	72	△393
当期末残高	1,617	1,882	△164	1,935	5,271	212	2,704	44,679

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,629	5,703
減価償却費	2,021	2,169
負ののれん発生益	—	△26
事業構造改善費用	123	152
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	11
退職給付に係る資産負債の増減額	△2,018	△1,787
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	△30	△14
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△7	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△18
受取利息及び受取配当金	△232	△233
支払利息	52	51
持分法による投資損益 (△は益)	△2	0
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△4
固定資産処分損益 (△は益)	89	99
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	△159
減損損失	362	1
売上債権の増減額 (△は増加)	124	1,355
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△127	138
仕入債務の増減額 (△は減少)	378	△2,401
その他	△133	△104
小計	6,232	4,932
利息及び配当金の受取額	232	233
利息の支払額	△52	△51
事業構造改善費用の支払額	△123	△152
法人税等の還付額	—	540
法人税等の支払額	△1,930	△1,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,358	4,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△168	△333
定期預金の払戻による収入	168	247
有形固定資産の取得による支出	△2,039	△4,290
有形固定資産の売却による収入	13	3
有形固定資産の除却による支出	△51	△79
無形固定資産の取得による支出	△342	△24
投資有価証券の取得による支出	△20	△94
投資有価証券の売却による収入	8	107
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	21
その他	△39	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,470	△4,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,400	△2,050
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△151	△26
自己株式の取得による支出	△403	△308
リース債務の返済による支出	△284	△293
配当金の支払額	△722	△714
非支配株主への配当金の支払額	△201	△217
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△147
その他	12	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351	△742
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	92
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,448	△640
現金及び現金同等物の期首残高	4,256	5,704
現金及び現金同等物の期末残高	5,704	5,064

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当連結会計年度において自己株式が308百万円増加し、当連結会計年度末において自己株式が1,617百万円となっております。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、株式会社宇部塗料商会の全株式を取得したことにより、連結子会社として連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

IFRSを適用している一部の連結子会社は、当連結会計年度の期首より、「リース」(IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。IFRS第16号の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始時に認識する方法を採用しております。したがって、比較情報の修正再表示は行わず、累積的影響は、当連結会計年度の期首において、利益剰余金及び有形固定資産とリース債務の調整として認識しております。なお、当連結会計年度の連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に国内塗料に関する事業部門と国際本部とを置き、それぞれ国内塗料事業会社並びに海外塗料事業会社における製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、国内連結子会社において照明機器事業並びに蛍光色材事業を展開しております。

したがって当社グループの報告セグメントは、国内塗料事業、海外塗料事業、照明機器事業、蛍光色材事業の4つとしております。

国内塗料事業は、国内における塗料の製造・販売を行っております。海外塗料事業は、主にアジア、北中米地域において塗料の製造・販売を行っております。照明機器事業は、各種照明機器の製造・販売並びに店舗工事等を行っております。蛍光色材事業は、蛍光顔料及び特殊コーティング材の製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント間の取引は、連結会社間の取引であり、市場価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 4	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	52,972	8,063	9,377	1,287	71,701	2,041	73,743	—	73,743
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,048	—	5	68	1,122	2,432	3,554	△3,554	—
計	54,021	8,063	9,383	1,355	72,823	4,474	77,297	△3,554	73,743
セグメント利益	2,934	1,190	1,238	74	5,438	315	5,754	285	6,039
セグメント資産	61,179	9,071	12,344	1,215	83,810	2,764	86,575	△7,695	78,880
その他の項目									
減価償却費	1,510	208	218	51	1,989	32	2,021	—	2,021
持分法適用会 社への投資額	19	8	—	—	28	32	61	—	61
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,735	576	222	30	2,564	7	2,571	—	2,571

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額285百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額△7,695百万円は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 4	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	51,861	7,290	10,135	1,337	70,624	2,084	72,709	—	72,709
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	803	0	41	73	918	2,326	3,244	△3,244	—
計	52,664	7,291	10,176	1,410	71,543	4,411	75,954	△3,244	72,709
セグメント利益	2,464	843	1,639	116	5,062	217	5,280	266	5,547
セグメント資産	57,718	9,925	13,309	1,168	82,122	2,619	84,741	△7,924	76,817
その他の項目									
減価償却費	1,590	306	229	50	2,176	29	2,206	—	2,206
持分法適用会 社への投資額	21	6	—	—	27	32	60	—	60
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,073	1,046	269	17	4,406	20	4,426	—	4,426

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額266百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額△7,924百万円は、セグメント間取引消去であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	その他	合計
65,166	8,576	73,743

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
三菱商事ケミカル株式会社	13,500	国内塗料 蛍光色材 その他

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	その他	合計
64,766	7,942	72,709

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
21,779	3,020	24,799

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
三菱商事ケミカル株式会社	13,831	国内塗料 蛍光色材 その他

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	その他	全社・消去	合計
減損損失	362	—	—	—	—	—	362

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	その他	全社・消去	合計
減損損失	1	—	—	—	—	—	1

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当連結会計年度において、株式会社宇部塗料商會を新たに連結子会社としました。これに伴い国内塗料事業にて負ののれん発生益26百万円を計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,478.43円	1,475.59円
1株当たり当期純利益	125.61円	128.96円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	124.87円	128.07円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,604	3,662
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,604	3,662
期中平均株式数(千株)	28,699	28,398
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	169	197
(うち新株予約権(千株))	(169)	(197)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	614	451
受取手形	3,583	3,386
売掛金	6,501	5,864
商品及び製品	2,388	2,254
仕掛品	385	338
原材料及び貯蔵品	925	850
短期貸付金	960	1,044
未収入金	4,568	3,369
その他	315	308
貸倒引当金	△17	△7
流動資産合計	20,225	17,860
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,135	2,207
構築物	292	293
機械及び装置	1,369	1,283
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	749	731
土地	8,894	8,904
リース資産	370	509
建設仮勘定	41	1,430
有形固定資産合計	13,854	15,361
無形固定資産		
借地権	64	64
ソフトウェア	132	130
リース資産	108	171
その他	74	81
無形固定資産合計	379	447
投資その他の資産		
投資有価証券	6,187	5,242
関係会社株式	12,428	12,751
長期貸付金	1,815	1,827
前払年金費用	5,009	6,697
その他	308	299
貸倒引当金	△47	△51
投資その他の資産合計	25,702	26,766
固定資産合計	39,936	42,575
資産合計	60,161	60,436

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,595	2,347
買掛金	12,582	10,611
短期借入金	3,200	1,150
1年内返済予定の長期借入金	—	600
リース債務	120	192
未払金	954	1,045
未払費用	744	710
未払法人税等	19	81
預り金	7,227	7,395
役員賞与引当金	35	26
製品補償引当金	348	334
その他	114	66
流動負債合計	27,942	24,561
固定負債		
長期借入金	—	2,400
リース債務	402	628
繰延税金負債	1,270	1,553
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付引当金	132	119
環境対策引当金	94	94
その他	22	22
固定負債合計	3,226	6,122
負債合計	31,168	30,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金		
資本準備金	2,443	2,443
資本剰余金合計	2,443	2,443
利益剰余金		
利益準備金	780	780
その他利益剰余金		
社会貢献活動積立金	120	114
繰越利益剰余金	13,777	15,508
利益剰余金合計	14,678	16,403
自己株式	△1,317	△1,617
株主資本合計	24,631	26,056
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,302	1,600
土地再評価差額金	1,882	1,882
評価・換算差額等合計	4,184	3,482
新株予約権	176	212
純資産合計	28,993	29,751
負債純資産合計	60,161	60,436

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	42,459	41,339
売上原価	31,723	30,726
売上総利益	10,735	10,613
販売費及び一般管理費	9,063	9,225
営業利益	1,671	1,388
営業外収益		
受取利息	49	51
受取配当金	1,130	1,314
不動産賃貸料	235	230
業務受託料	309	309
その他	186	148
営業外収益合計	1,910	2,055
営業外費用		
支払利息	62	65
売上債権売却損	47	37
支払補償費	14	41
製品補償引当金繰入額	97	2
賃貸費用	41	29
その他	63	43
営業外費用合計	327	218
経常利益	3,255	3,225
特別利益		
投資有価証券売却益	—	91
関係会社清算益	1,073	—
その他	—	3
特別利益合計	1,073	95
特別損失		
固定資産処分損	65	91
減損損失	362	1
事業構造改善費用	—	147
その他	15	20
特別損失合計	443	261
税引前当期純利益	3,885	3,059
法人税、住民税及び事業税	135	26
法人税等調整額	403	590
法人税等合計	538	617
当期純利益	3,346	2,441

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						社会貢献活動積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	8,827	2,443	—	2,443	780	126	11,148	12,055	△919	22,406
当期変動額										
社会貢献活動積立金の取崩						△5	5	—		—
剰余金の配当							△722	△722		△722
当期純利益							3,346	3,346		3,346
自己株式の取得									△403	△403
自己株式処分差損の振替			1	1			△1	△1		—
新株予約権の行使			△1	△1					4	3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△5	2,628	2,623	△398	2,224
当期末残高	8,827	2,443	—	2,443	780	120	13,777	14,678	△1,317	24,631

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	2,191	1,882	4,073	138	26,619
当期変動額					
社会貢献活動積立金の取崩					—
剰余金の配当					△722
当期純利益					3,346
自己株式の取得					△403
自己株式処分差損の振替					—
新株予約権の行使				△3	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	111		111	41	152
当期変動額合計	111	—	111	38	2,374
当期末残高	2,302	1,882	4,184	176	28,993

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式		
		資本準備 金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金				
					社会貢献 活動積立 金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	8,827	2,443	—	2,443	780	120	13,777	14,678	△1,317	24,631
当期変動額										
社会貢献活動積立金の取崩						△6	6	—		—
剰余金の配当							△714	△714		△714
当期純利益							2,441	2,441		2,441
自己株式の取得									△308	△308
自己株式処分差損の振替			2	2			△2	△2		—
新株予約権の行使			△2	△2					9	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△6	1,731	1,724	△299	1,424
当期末残高	8,827	2,443	—	2,443	780	114	15,508	16,403	△1,617	26,056

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	2,302	1,882	4,184	176	28,993
当期変動額					
社会貢献活動積立金の取崩					—
剰余金の配当					△714
当期純利益					2,441
自己株式の取得					△308
自己株式処分差損の振替					—
新株予約権の行使				△6	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△702		△702	42	△659
当期変動額合計	△702	—	△702	35	758
当期末残高	1,600	1,882	3,482	212	29,751

6. その他

役員の変動（2020年6月26日付）

[代表者の変動]

当該事項はありません。

[その他役員の変動]

①新任監査役候補

常 勤 監 査 役	こ ばやし まさ き 小 林 正 樹	[現 経営企画室統括]
-----------	-----------------------	-------------

②退任予定監査役

常 勤 監 査 役	むろ うち まさ と 室 内 聖 人
-----------	-----------------------

以 上